

可とう性重圧管

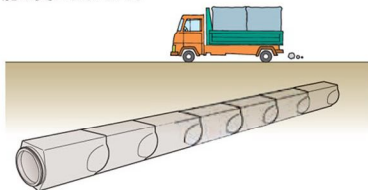
全国で2,000kmの実績を誇り、圧倒的な支持を得ている重圧管に可とう性能(耐震性能)がプラスされました。

- 「下水道施設の耐震対策指針と解説」【(社)日本下水道協会】で記述されているレベル2地震動に対しても個々の継手部が可動することにより、対応が可能です。
- 個々の継手部で地盤変異を吸収されることにより、重圧管の縦方向に発生する応力の低減が図れ、各継手部に発生する抜け出し量及び屈折角を小さくすることが可能です。



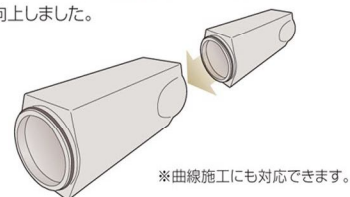
1 高強度

横断走行、適用土被りなど、従来の重圧管の高性能は変わりません。



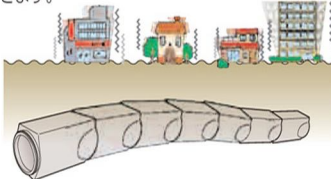
2 かんたん、らくらく施工

差し込むだけなので、特殊な工事を必要としません。ゴムリングの表層が柔らかいため、施工性が向上しました。



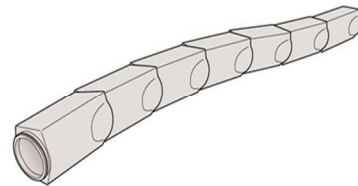
3 レベル1、2の地震動に対応

製品個々の継手部で、地盤変位を吸収させることで、発生する応力の低減が図れ、管の損傷を防ぎます。



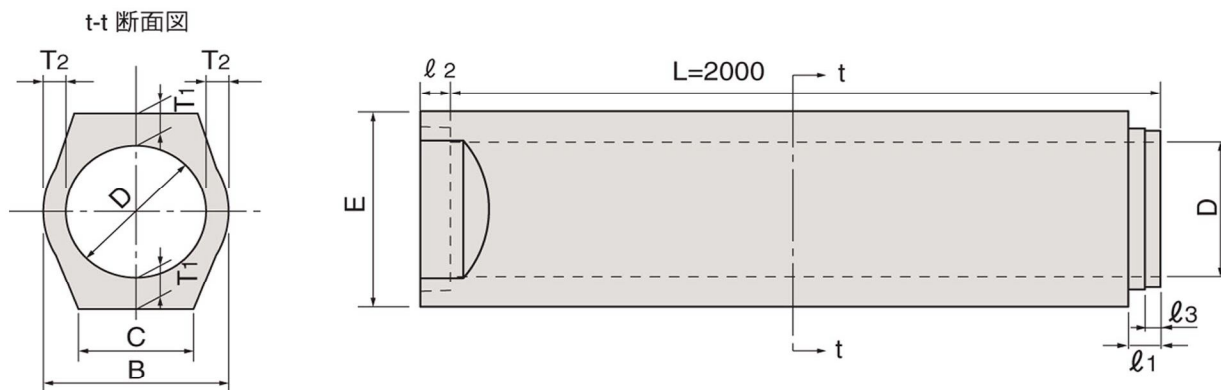
4 優れた水密性

継手部の抜け出しや屈曲に対して、0.1MPaの水密性能があるため、土砂の流入を防ぎます。



製品規格

NETIS:SK-080006-A



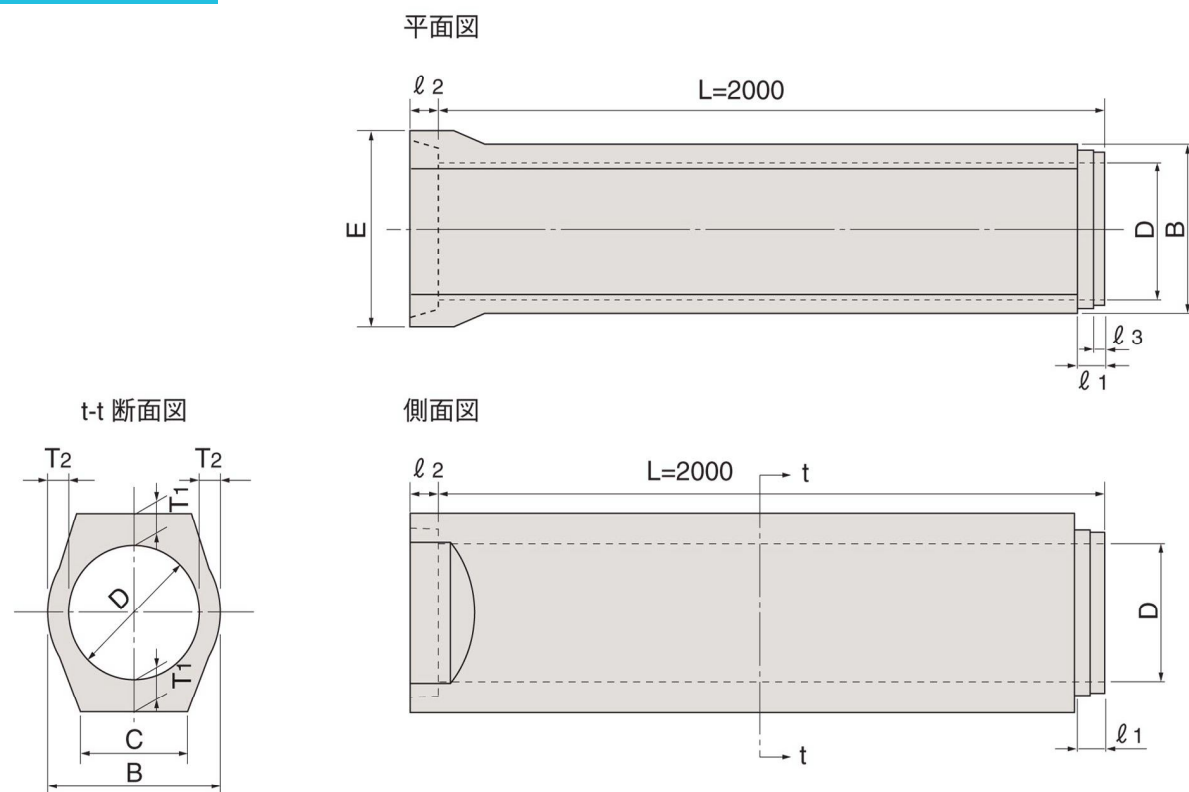
規格名称	規格寸法(mm)									参考質量(kg)	許容値		曲線半径(m)
	D	T1	T2	B	C	E	l1	l2	l3		抜け量(mm)	屈曲角(°)	
φ300	300	68	42	384	272	436	75	70	36	380	30	3.95	30
φ350	350	72	44	438	310	494	75	70	36	465	30	3.48	34
φ400	400	80	50	500	354	560	80	75	36	595	30	3.07	38
φ450	450	88	54	558	396	626	80	75	36	730	30	2.75	43
φ500	500	94	58	616	436	688	80	75	36	870	30	2.50	47
φ600	600	100	62	724	514	800	85	80	36	1120	30	2.15	54
φ700	700	119	69	838	594	938	85	80	40	1505	30	1.83	63
φ800	800	123	76	952	674	1046	95	90	40	1835	30	1.64	71
φ900	900	134	83	1066	754	1168	100	95	40	2255	30	1.47	79
φ1000	1000	155	90	1180	840	1310	111	106	40	2830	30	1.31	88

注1) 常時条件の土被り条件は通常の重圧管と同じです。詳しくはP6「許容土被り表」を参照下さい。

注2) 耐震設計につきましては別途お問い合わせ下さい。

重圧管

製品規格



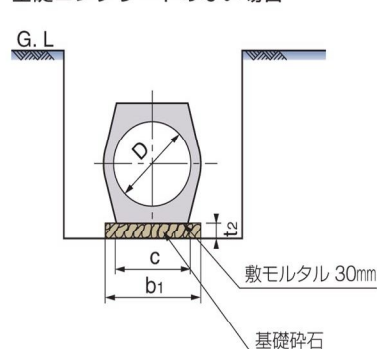
1種・2種

規格名称	規格寸法 (mm)										参考質量 (kg)
	D	T ₁	T ₂	B	C	E	l ₁	l ₂	l ₃	控除断面積 (m ²)	
φ 150	150	62	40	230	162	274	75	70	32	0.0547	185
φ 200	200	62	40	280	198	324	75	70	32	0.0790	240
φ 250	250	64	40	330	234	378	75	70	32	0.1087	300
φ 300	300	68	42	384	272	436	75	70	36	0.1460	380
φ 350	350	72	44	438	310	494	75	70	36	0.1889	465
φ 400	400	80	50	500	354	560	80	75	36	0.2442	595
φ 450	450	88	54	558	396	626	80	75	36	0.3049	730
φ 500	500	94	58	616	436	688	80	75	36	0.3697	870
φ 600	600	100	62	724	514	800	85	80	36	0.5059	1120
φ 700	700	119	69	838	594	938	85	80	40	0.6859	1505
φ 800	800	123	76	952	674	1046	95	90	40	0.8693	1835
φ 900	900	134	83	1066	754	1168	100	95	40	1.0868	2255
φ 1000	1000	155	90	1180	840	1310	111	106	40	1.3510	2830
φ 1100	1100	167	110	1320	930	1434	115	110	42	1.6510	3505
φ 1200	1200	179	120	1440	1018	1558	119	114	42	1.9591	4145
φ 1500	1500	216	150	1800	1272	1932	127	122	42	3.0376	6355

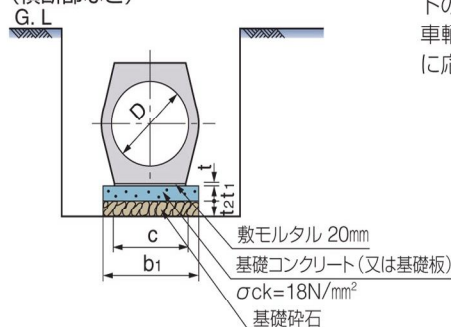
注) 土被り条件は、P6 の許容土被り表をご参照ください。

標準敷設寸法(1種・2種共通)

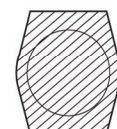
基礎コンクリートのない場合



基礎コンクリートのある場合
(横断面など)



注) 基礎材料(基礎コンクリートの有無など)については、車輛通行形態等の現場状況に応じて検討してください。



控除断面積

規格名称	基礎寸法(mm)					敷設材料(10m当り)				控除断面積(m²)
	c	b ₁	t	t ₁	t ₂	敷モルタル(m³)	基礎コンクリート(m³)	基礎碎石(m³)	基礎型枠(m²)	
φ 150	162	360	20	100	150	0.032	0.360	0.540	2.00	0.0547
φ 200	198	400	20	100	150	0.040	0.400	0.600	2.00	0.0790
φ 250	234	430	20	100	150	0.047	0.430	0.645	2.00	0.1087
φ 300	272	470	20	100	150	0.054	0.470	0.705	2.00	0.1460
φ 350	310	510	20	100	150	0.062	0.510	0.765	2.00	0.1889
φ 400	354	550	20	100	150	0.071	0.550	0.825	2.00	0.2442
φ 450	396	600	20	100	150	0.079	0.600	0.900	2.00	0.3049
φ 500	436	640	20	100	150	0.087	0.640	0.960	2.00	0.3697
φ 600	514	810	20	100	150	0.103	0.810	1.215	2.00	0.5059
φ 700	594	890	20	100	150	0.119	0.890	1.335	2.00	0.6859
φ 800	674	970	20	100	150	0.135	0.970	1.455	2.00	0.8693
φ 900	754	1050	20	100	150	0.151	1.050	1.575	2.00	1.0868
φ1000	840	1140	20	100	150	0.168	1.140	1.710	2.00	1.3510
φ1100	930	1230	20	150	200	0.186	1.845	2.460	3.00	1.6510
φ1200	1018	1320	20	150	200	0.204	1.980	2.640	3.00	1.9591
φ1500	1272	1570	20	150	200	0.254	2.355	3.140	3.00	3.0376

※上表の寸法は目安ですので、現場条件に応じて変更してください。

据付け歩掛り (1種・2種共通)

(10m当り)

規格名称	世話役 (人)	特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	バックホウ運転 (h)	ホイールクレーン 運転(日)	基礎碎石比率 (%)	諸雑費率 (%)
φ 150	0.2	0.1	0.4	2.1	—	16	7
φ 200							
φ 250							
φ 300							
φ 350	0.3	0.2	0.6	2.7	—		
φ 400							
φ 450							
φ 500							
φ 600	0.4	0.3	0.9	3.5	—		
φ 700							
φ 800							
φ 900							
φ1000	0.6	0.4	1.2	—	0.5		
φ1100							
φ1200							
φ1500							
	0.8	0.5	1.5	—	0.6		

注1)バックホウの規格は「排出ガス対策型・クローラ型 クレーン機能付 山積0.45m³(平積0.35m³)2.9t吊」とします。

注2)ホイールクレーンは賃料とし、規格は「排出ガス対策型油圧伸縮ジブ型 25t吊」を標準とします。

注3)基礎コンクリートのある場合は、別途計上してください。

適用基準:平成23年度 国土交通省 土木工事積算基準

※φ150、φ1500は、上記基準を参考に当社実績に基づき定めています。